



決算説明会資料 2009年3月期第2四半期

～目次～

2009年(平成21年)3月期第2四半期 P. 3～12

決算の概要

今期業績見通し P. 13～17

中期経営計画について P. 18～21

配当政策 P. 22

2009年3月期第2四半期

～ 決算の概要 ～

- 受注高は前年同期比12.2%減、売上高は同3.8%減に。
- プロセス事業が好調で、売上大幅増で貢献。検査機事業は受注は伸び、営業黒字に転換。ウェブ事業の受注・売上が前年同期を大幅に下回った。
- 営業利益率は前年同期に比べ1.9ポイントダウン。主に関連子会社の低迷による。
- 特損571百万円計上により四半期純損失242百万円。

損益計算書の概要

(単位：百万円)

	当第2四半期(08/9)		前中間期(07/9)		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	3,970	100.0%	4,128	100.0%	158	3.8%
売上総利益	1,413	35.6%	1,460	35.4%	47	3.2%
営業利益	187	4.7%	273	6.6%	86	31.6%
経常利益	217	5.5%	304	7.4%	87	28.6%
当期純利益	242		148	3.6%	391	
設備投資額	161	4.1%	67	1.6%	94	140.6%
減価償却費	88	2.2%	75	1.8%	13	18.0%
研究開発費	554	14.0%	440	10.7%	113	25.7%
一株当り利益	26円62銭		16円25銭			

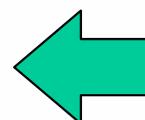
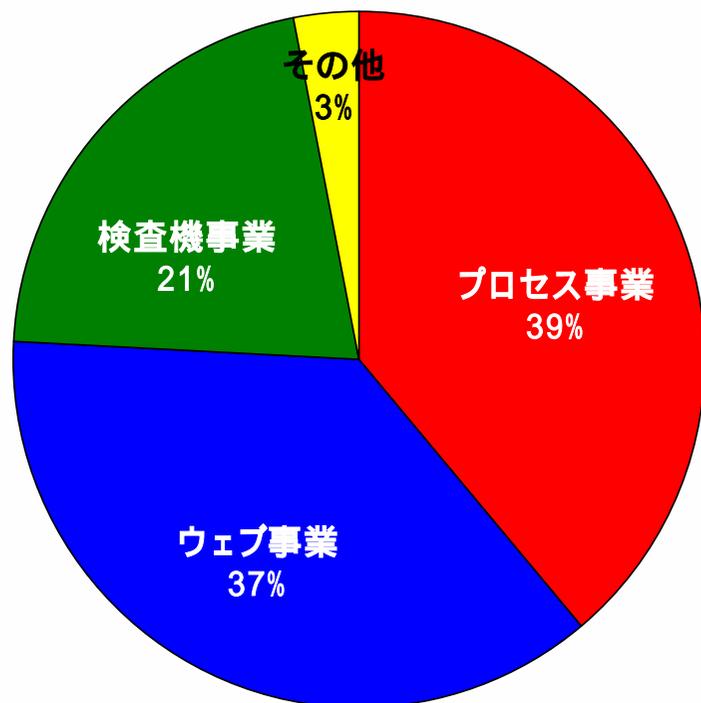
セグメント別受注及び売上の状況

(単位：百万円)

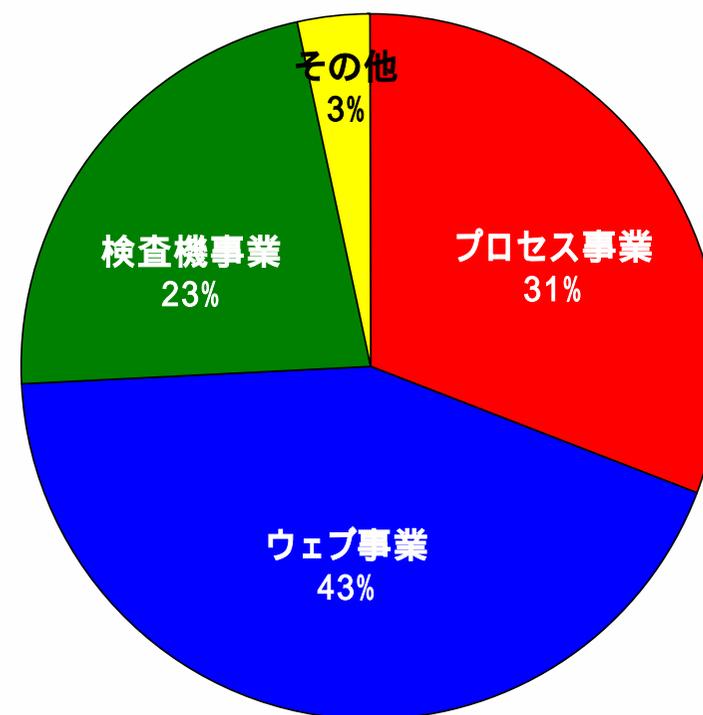
	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	1,575	6.5%	1,544	21.0%	1,594	24.9%
ウェブ事業	1,383	30.4%	1,465	17.9%	560	23.1%
検査機事業	942	20.5%	833	10.5%	518	31.3%
その他 (近赤外分析など)	123	5.3%	126	6.0%	22	60.1%
合計	4,025	12.2%	3,970	3.8%	2,695	11.7%

セグメント別の売上構成

2009年3月期第2四半期



2008年3月期中間期



セグメント別受注及び売上の計画対実績

(単位：百万円)

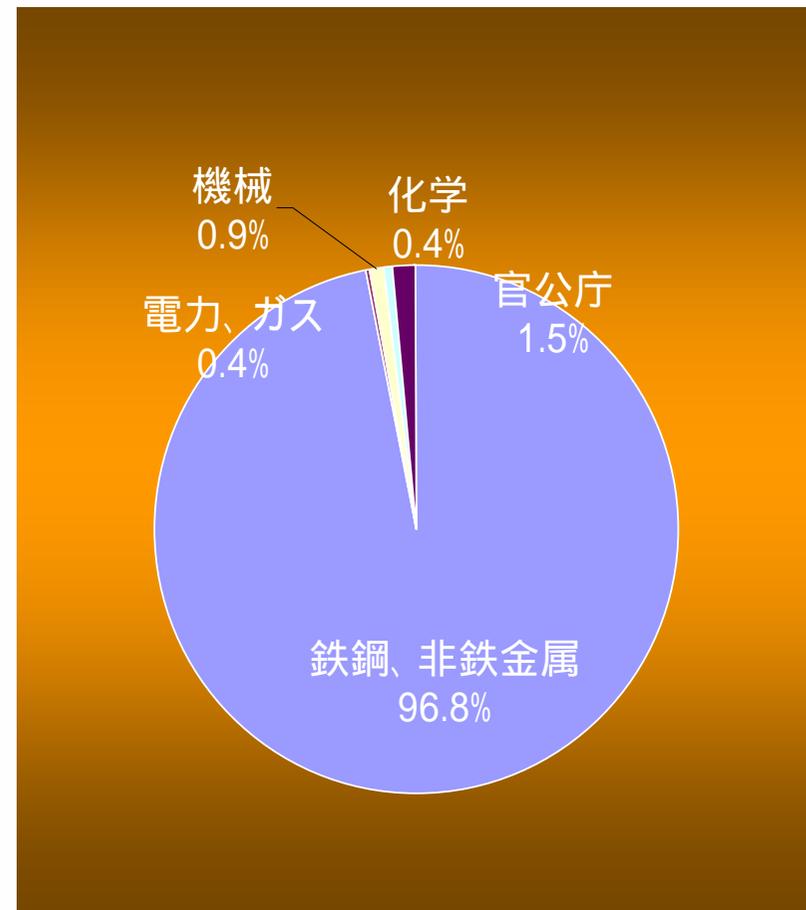
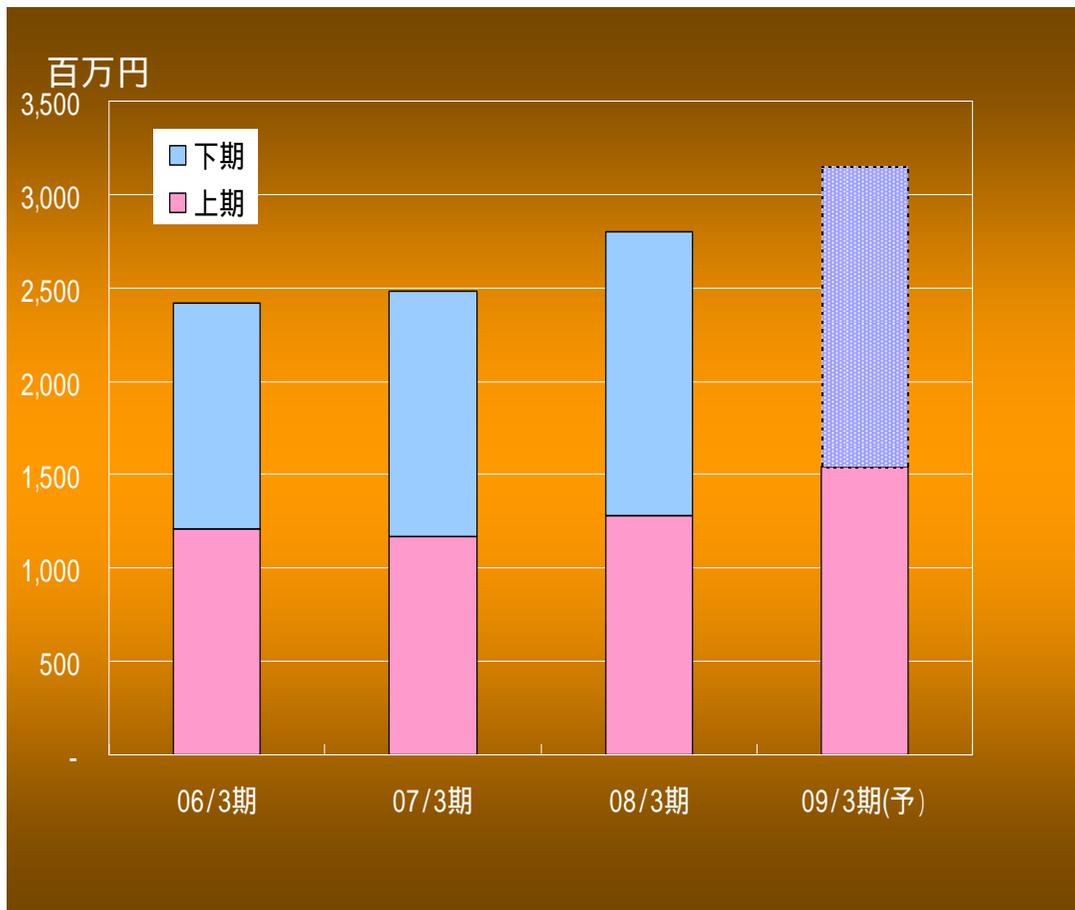
	受注高			売上高		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
プロセス事業	1,450	1,575	108.6%	1,400	1,544	110.3%
ウェブ事業	1,730	1,383	79.9%	1,700	1,465	86.2%
検査機事業	840	942	112.1%	820	833	101.6%
その他 (近赤外分析など)	100	123	123.0%	80	126	157.5%
合計	4,120	4,025	97.7%	4,000	3,970	99.3%

プロセス事業の概況

国内鉄鋼業界のリブレース需要を確実に獲得し、自動識別印字装置が受注を大きく伸ばし、海外向けでは、渦流式溶鋼レベル計の受注が伸びた。事業全体では、受注が前年同期並み、売上が前年同期に対して21%増。

〈プロセス事業 売上高推移〉

〈ユーザー業種別 売上構成比〉

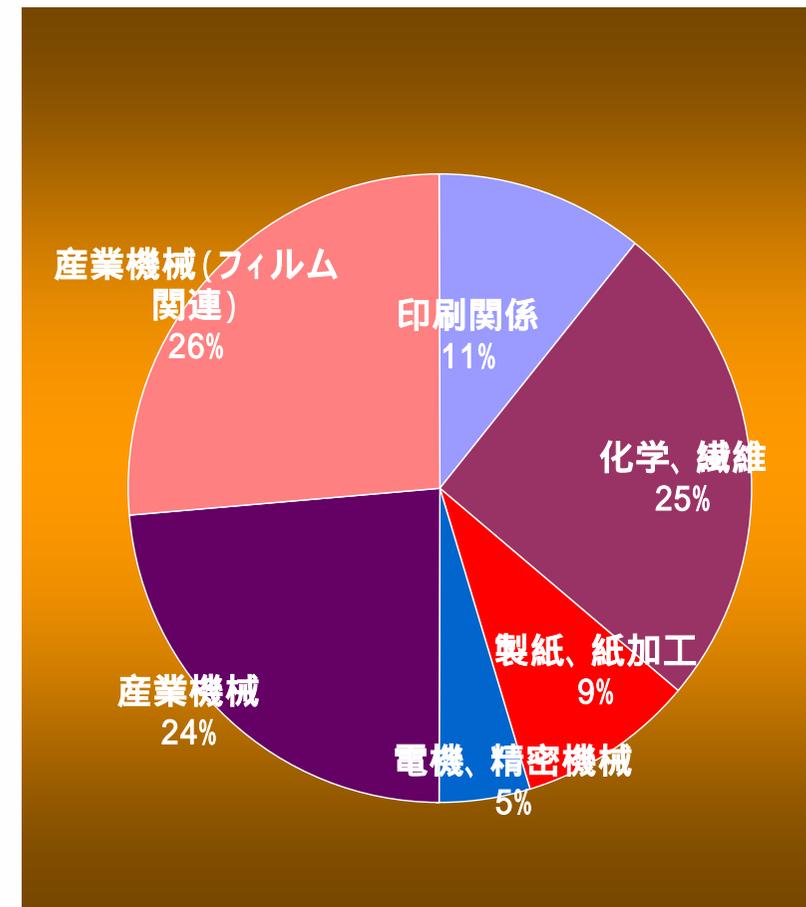
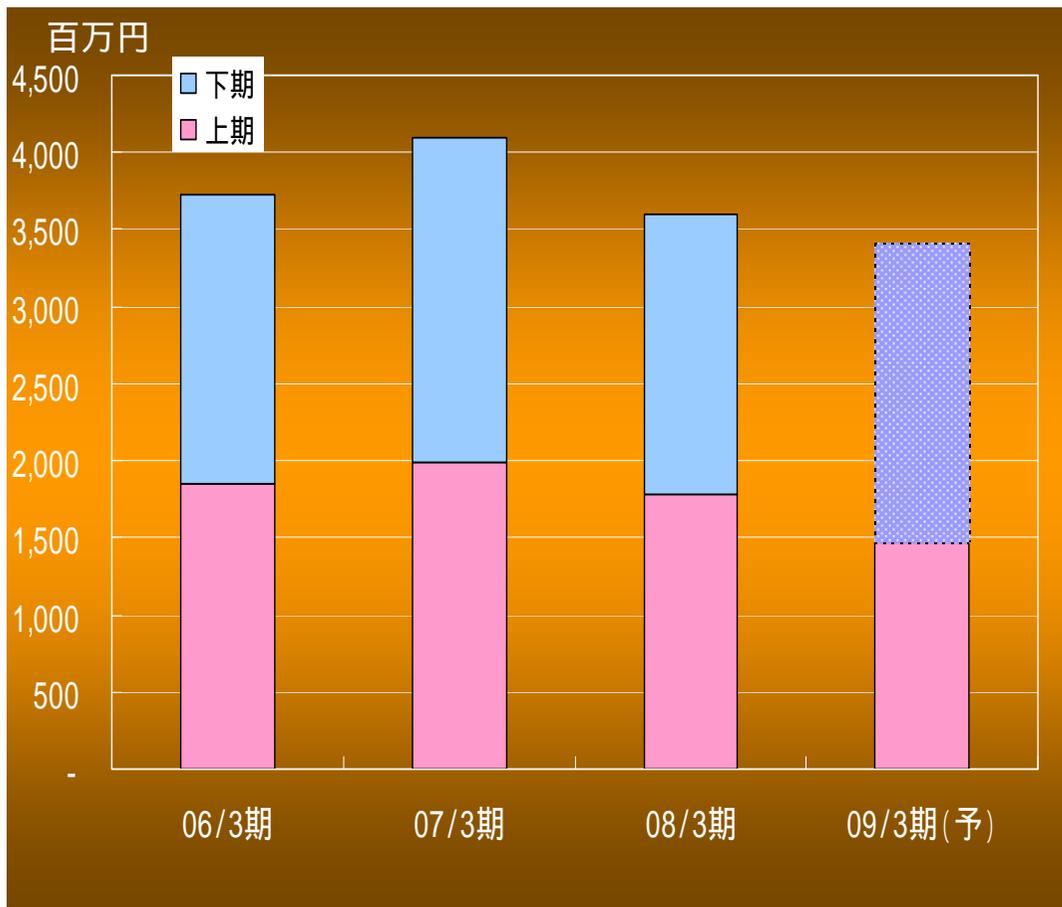


ウェブ事業の概況

液晶やFPD関係の設備投資に踊り場状態が続き、高感度フィルム向け制御装置の売上は伸びず。印刷関係が原材料費高騰と顧客からの値下げ圧力等の影響で設備投資を抑制し、印刷向け制御装置の売上が大きくダウンした。事業全体で、受注は前年同期に対し30%減、売上は18%減。

〈ウェブ事業 売上高推移〉

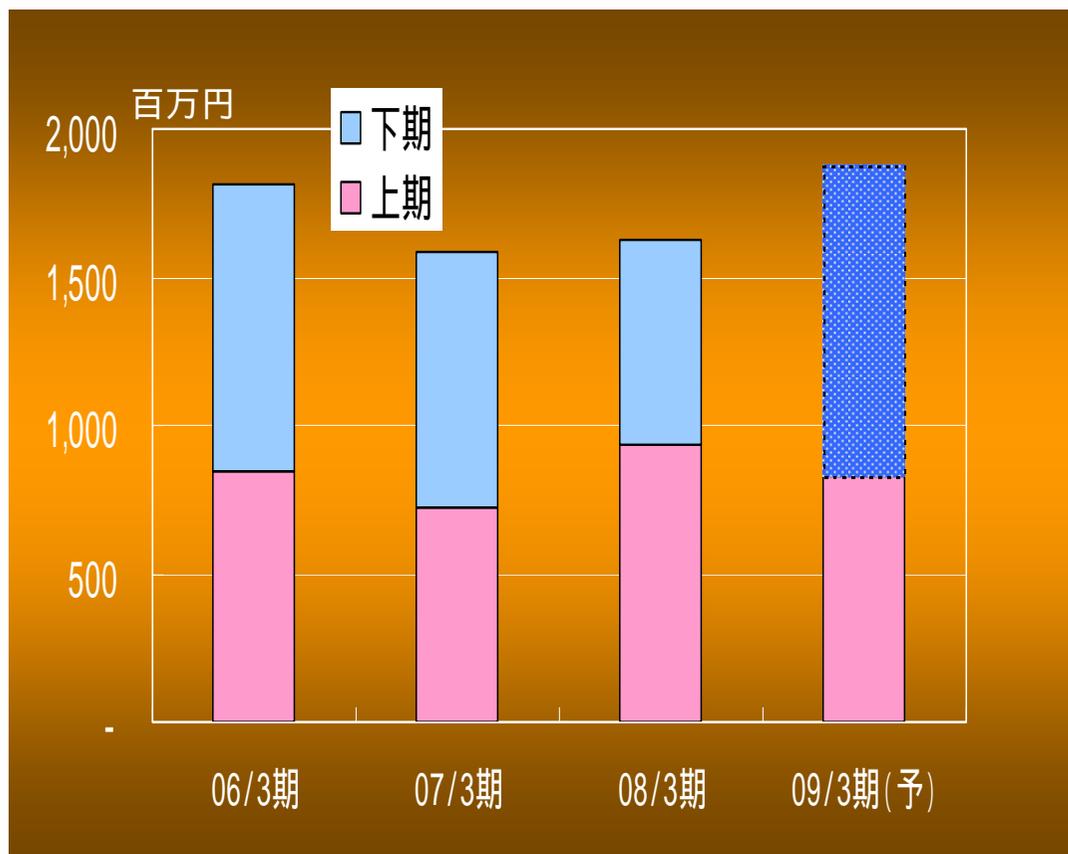
〈ユーザー業界別 売上構成比〉



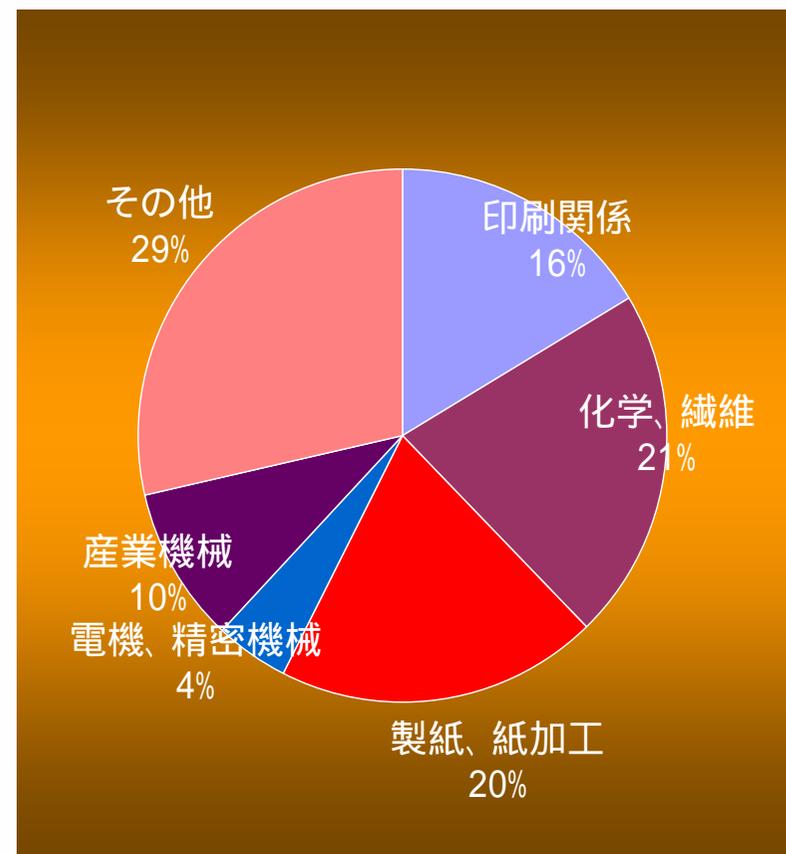
検査機事業の概況

印刷品質検査装置は、4月より販売開始のBCON3000plusが順調に受注を伸ばしている。青果物検査装置が大きく伸びた。受注は前年同期に対し20.5%増、売上はBCON3000plusの出荷が7月からのため前年同期を下回ったが、営業黒字となった。

〈検査機事業売上高推移〉



〈ユーザー業界別 売上構成比〉



貸借対照表の概要

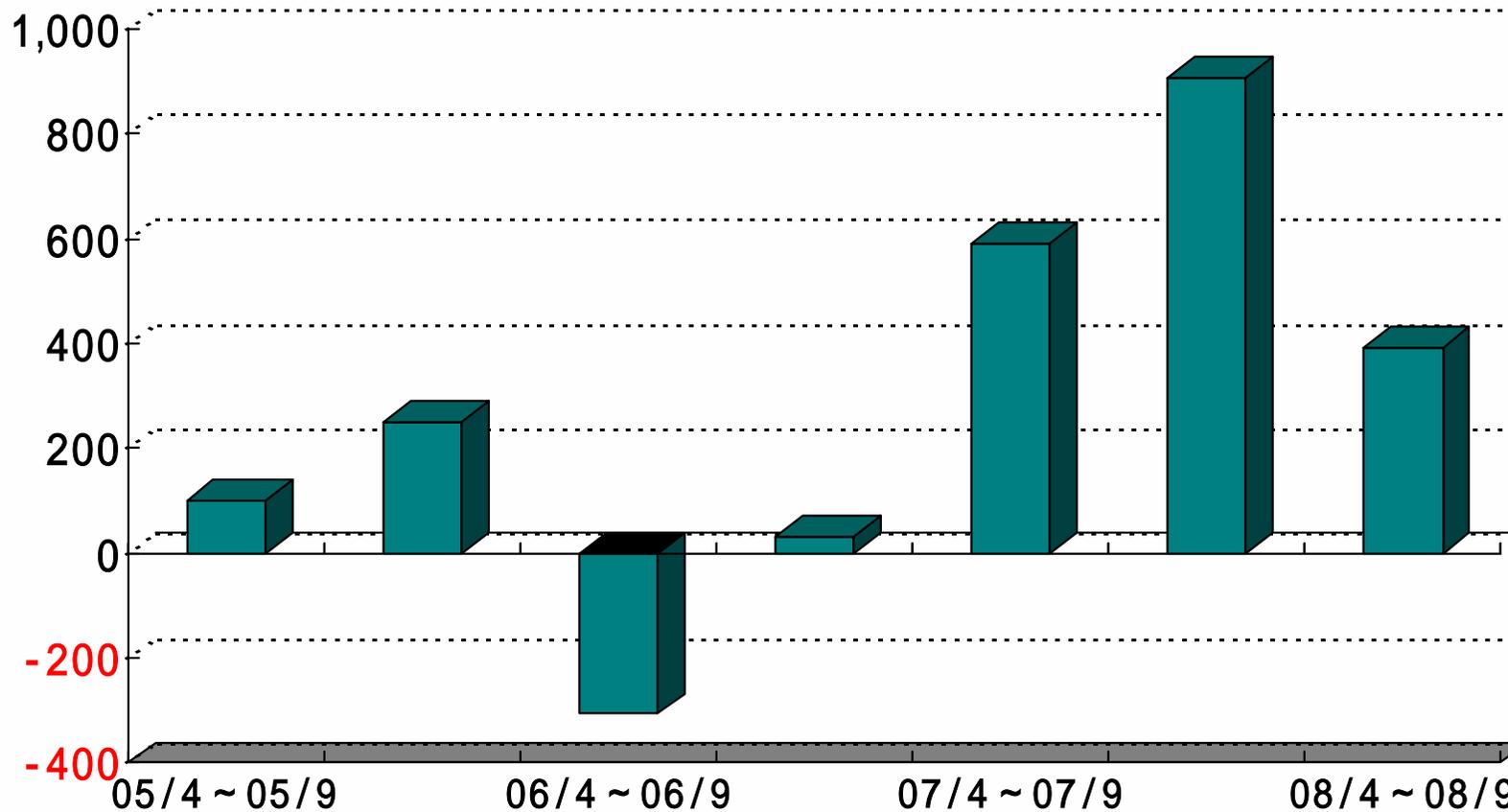
(単位：百万円)

	当09/3第2四半期末		08/3期末		増減 (1)-(2)	備考
	金額(1)	構成比	金額(2)	構成比		
現金預金	3,930	27.8%	3,769	26.1%	160	
売上債権	2,819	20.0%	3,330	23.0%	511	
有価証券	211	1.5%	109	0.8%	102	
棚卸資産	2,414	17.1%	2,560	17.7%	145	棚卸資産減損計上等
その他流動資産	479	3.4%	294	2.0%	185	
流動資産計	9,855	69.8%	10,065	69.6%	209	
有形固定資産	1,584	11.2%	1,600	11.1%	15	
無形固定資産	122	0.9%	43	0.3%	79	リースのソフトを固定資産計上
投資その他の資産	2,564	18.1%	2,746	19.0%	182	投資有価証券評価損計上 他
固定資産計	4,272	30.2%	4,390	30.4%	118	
資産合計	14,127	100.0%	14,455	100.0%	328	
買入債務	444	3.1%	360	2.5%	84	
短期借入金	1	0.0%	2	0.0%	1	
その他流動負債	715	5.1%	735	5.1%	19	
流動負債計	1,161	8.2%	1,097	7.6%	64	
長期借入金	0	0.0%	1	0.0%	1	
その他固定負債	254	1.8%	206	1.4%	47	
固定負債計	255	1.8%	208	1.4%	47	
負債合計	1,417	10.0%	1,305	9.0%	112	
資本合計	12,709	90.0%	13,150	91.0%	440	当期順損失、配当金、他
負債純資産合計	14,127	100.0%	14,455	100.0%	328	

フリーキャッシュフローの推移

売上債権の減少や在庫の抑制等により営業キャッシュフローが増加し、投資活動によるキャッシュフローが減少した分を補った。

(単位：百万円)



注)フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー

損益計算書の概要

(単位：百万円)

	今期計画 (09/3)		前期実績 (08/3)		増 減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	8,700	100.0	8,332	100.0	368	4.4
売上総利益	2,950	33.9	2,817	33.8	133	4.7
営業利益	560	6.4	436	5.2	124	28.4
経常利益	670	7.7	482	5.8	188	38.0
当期純利益	100	1.1	242	2.9	142	58.6
設備投資	180	2.1	113	1.3	67	37.2
減価償却費	180	2.1	166	2.0	14	8.4
研究開発費	800	9.2	945	11.3	145	15.3
一株当り利益	10.96	-	26.46	-	-	-

受注及び販売の見通し

(単位：百万円)

	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	4,060	16.2%	3,300	17.9%	2,323	48.6%
ウェブ事業	3,400	8.4%	3,200	11.0%	841	31.2%
検査機事業	2,100	40.8%	1,900	16.8%	609	48.9%
その他 (近赤外分析など)	440	37.9%	300	3.5%	166	
合計	10,000	10.9%	8,700	4.4%	3,939	49.2%

第3～4四半期の施策(プロセス事業)

〈最近のユーザーの状況〉

- (国内) 国内鉄鋼メーカーの設備更新及び新規ライン計画はひとわり終了する見込みだが、品質向上のための高精度の制御装置や検査装置への需要は高い。
- (海外) 世界的な景気後退の影響で鉄鋼需要が沈静化、しかし、中国、韓国、台湾及びインド、ブラジルでは設備需要は根強い。



〈施 策〉

国内で受注を洩れなく獲得するとともに、海外での受注を相対的に増やしていく。

(国内) 設備更新・増強案件を中心に漏れなく受注を獲得する。

既存製品のコストダウン

(海外) 近隣の台湾、韓国、中国に重点を置き、耳端位置制御装置、自動識別印字装置を中心に新規受注獲得に努める。

耳端位置制御装置：電磁波式炉内センサを武器に、炉外は既存品の大幅コストダウンを進める。

自動識別印字装置：中国での簡易型マーカ生産を始め、中国、インド、ブラジルでの受注獲得に努める。

第3～4四半期の施策(ウェブ事業)

〈最近のユーザーの状況〉

高機能フィルムメーカーの広幅フィルムへの移行時期の見極めにより関連業界の設備投資が大きく遅れている(回復は次期以降)。印刷関係は新聞社等で大型輪転印刷機の設備投資が一通り終わり、一部で設備更新の動きが始まった。他方、電池の関連の需要は高水準が続く。

〈施 策〉

- 電子機器材料関連の受注を確実に獲得。
- 印刷・フィルム以外の新たな市場 09年2月の国際水素・燃料電池展に出展。
- 新聞輪転印刷向け色合い制御装置「Wonder-Scan」の販売を推進
 - 年間2～3億の受注を目標
- 市場投入の遅れた新型機の開発を急ぐ
- 海外(特に韓国、中国)での受注増を図る。
 - 韓国では新たな代理店により攻勢をかける
 - 中国へは中国仕様の電気式EPCを拡販する

第3～4四半期の施策(検査機事業)

〈最近のユーザーの状況〉

軟包材・グラビア印刷は、原材料価格高騰や環境設備義務化による負担と需要の伸び悩みによる競争激化が利益率を圧迫	印刷品質検査装置
高機能フィルムは高い仕様要求を満たす設備への需要	無地検査装置
農産物の選果ラインは設備更新期を迎え需要が高い	青果物検査装置



〈施策〉

印刷品質検査装置は、新主力機BCON3000plusを4月より販売開始し、中小のユーザーのニーズを喚起するとともに、新市場への展開により好調な受注を続ける。

無地検査装置は、「MujiKen」に対する引き合いは増加し、照明部の改良によるコストダウンを行った。ユーザーの仕様への高い要求(特にサンプルテスト)への対応強化。

汎用フィルム向けの簡易型「MujiKen」を販売開始。10月のFPD展では良好な反応。高機能フィルム以外での受注増を図るとともに市場での知名度アップを図る。

青果物検査装置は10月に人員を集中させ、ユーザーへのデモンストレーションの拠点として、アグリセンターを八王子に設けた。

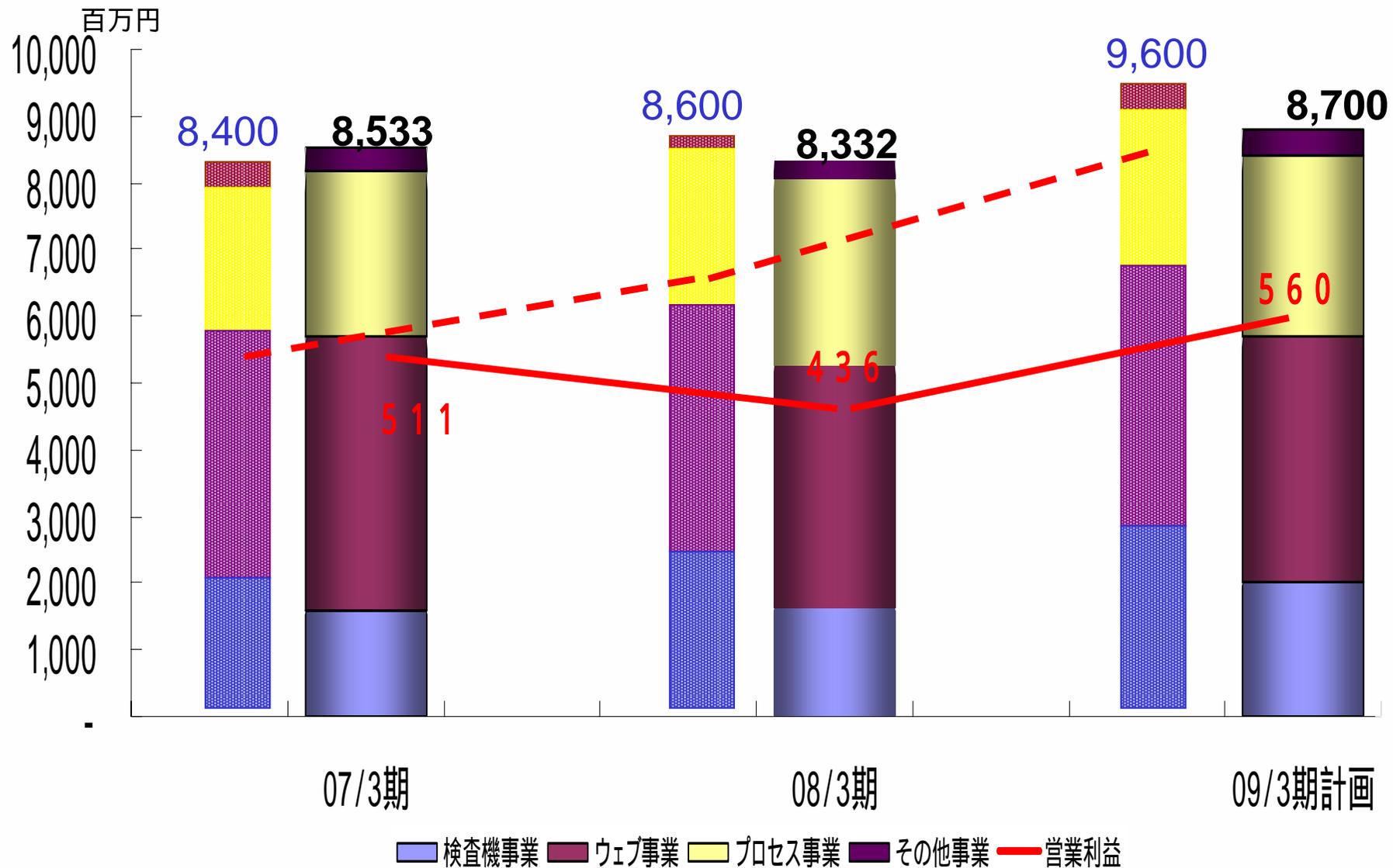
中期経営計画の目標と実績

(単位:百万円)

	07.3期 目標	07.3期 実績	08.3期 目標	08.3期 実績	09.3期 目標	09.3期 修正
売上高(計画)	8,400	8,533	8,600	8,332	9,600	8,700
プロセス事業	2,100	2,478	2,500	2,799	2,200	3,300
ウェブ事業	3,900	4,099	3,730	3,594	4,000	3,200
検査機事業	2,100	1,587	1,880	1,627	3,000	1,900
その他	300	367	490	311	400	300
営業利益	500	511	560	436	780	560
経常利益	550	642	680	482	840	670

注) 以前の発表は単体ベースでしたが、連結ベースに組み直しました。

中期経営計画の目標と実績



点線、網掛けは中期経営計画の目標数値

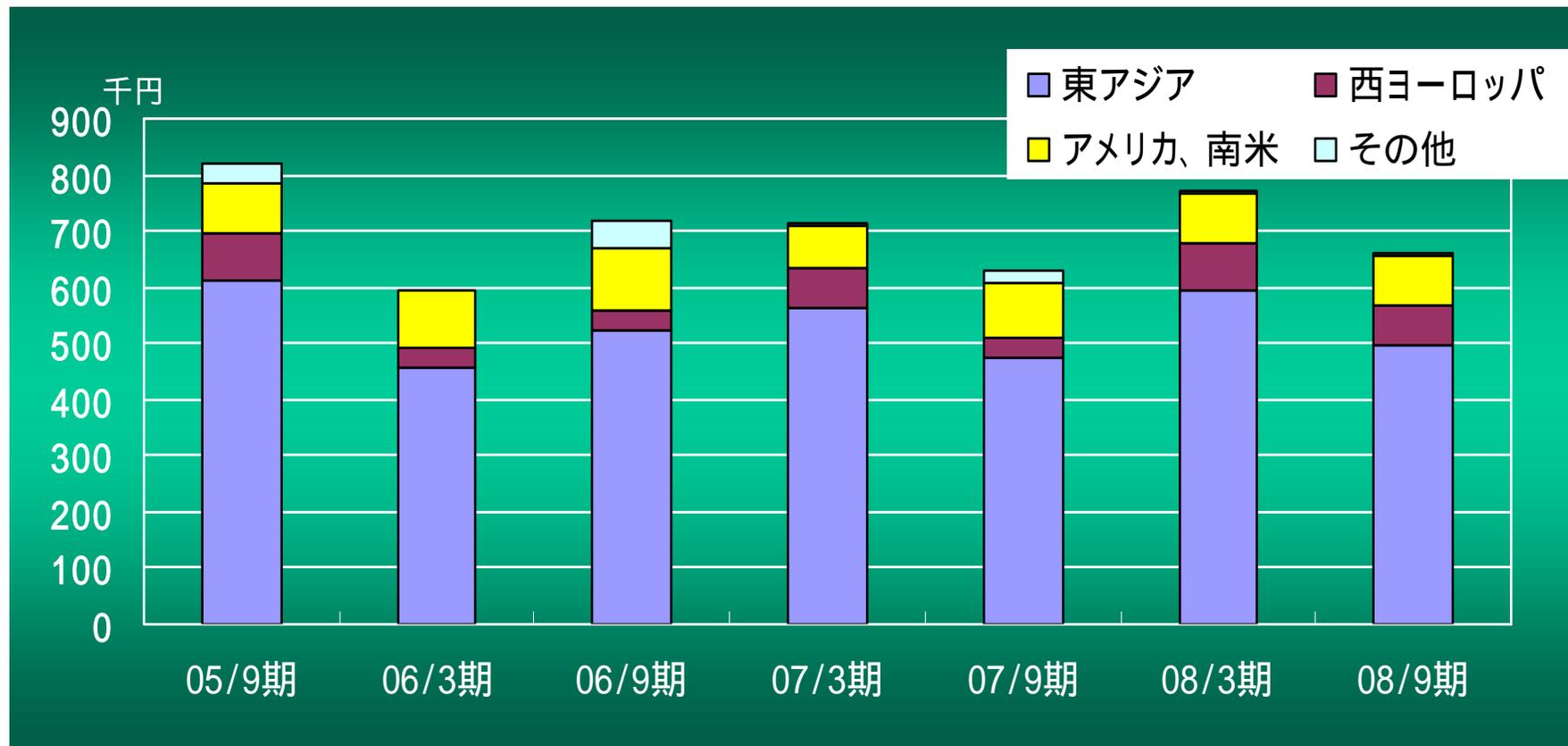
海外市場展開

海外売上高は連結売上高の15.9%

東アジア地区を主として海外拠点、サービス体制を強化

海外営業専任の営業部を設置

〈海外市場別売上高〉

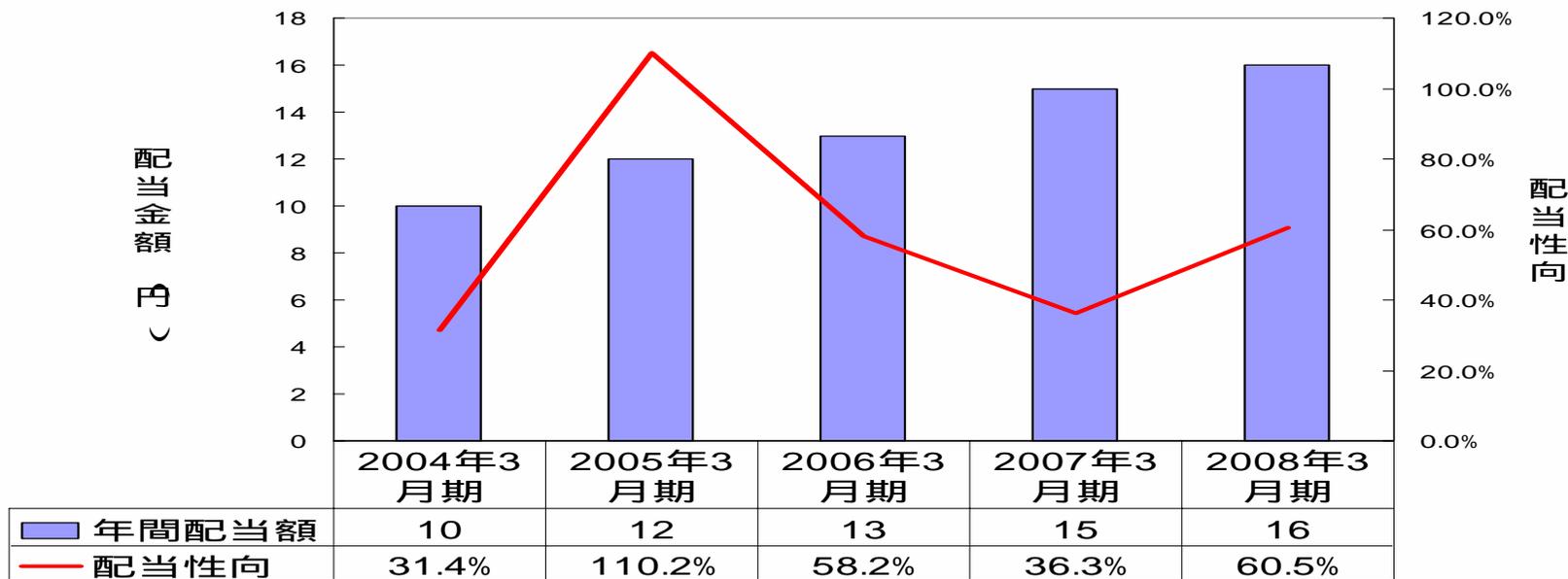


これまでの説明会で紹介した新製品、戦略製品の経過報告

製品	紹介年月	経過	現時点での評価
無地検査装置 MujiKen	2005年 12月	06年3月期後半より高機能フィルム等向けの高級機種として販売開始。簡易型を08年8月から販売開始、従来の高級機種と合わせて拡販。成果は目標売上数値を下回っている。	
分光式計測装置 COMES	2006年 6月	すでに8setを受注し、今後1年間で20～30setの受注を見込む。10月のFPD展でも好評、引き合いが増えている。	
レーザー マーカ	2006年 12月	すでに7setを受注（うち4setを納入）し、製作体制は従来モデルと合わせてフル稼働状態で、好調に実績をあげている。	
青果物検査装置	2007年 6月	選果ラインの更新需要を捉え、売上は前年同期の5倍となった。受注、引き合いも好調で、製作体制を強化した。	
電磁波式炉内 CPCセンサ	2007年 12月	現在までに16setを納入し、今後は、すでに受注している分を含めて50setを見込んでいる。	
輪転機向け品質 制御装置 Wonder-Scan	2008年 6月	08年7月より販売開始、年間で2～3億円の売上を見込んでいる。	

～ 配当政策 ～

安定配当を確保(配当性向35%以上を維持を原則)
 2009年3月期の中間配当金は 8円 / 株を予定



株式会社ニレコ 管理部門総務課

担当：佐々田、(片山)

: 042 - 642 - 3111

E-mail: takuya.sasada@nireco.co.jp

yasuo.katayama@nireco.co.jp

住所 : 〒192 - 0032

東京都八王子市石川町2951 - 4

HP : <http://www.nireco.com/>

本資料に掲載されている、ニレコグループ(株式会社ニレコ及び子会社)に関する記述の部分は、本資料の作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいております。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意下さい。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なる可能性があります。